



Sunport Hall Takamatsu

Shalala

vol. 29

サンポートホール通信
[季刊シャ・ラ・ラ]

2010年冬季号
<http://www.sunport-hall.jp/>

- CONCERT FILE VOL.6
瀬戸フィルハーモニー交響楽団
- 高校演劇フェスティバル
- レポート
瀬戸内国際芸術祭連携事業
l'oeuf ~おいしいものはベツバラ~
- レポート
ブラック・ボトム・プラス・バンド (BBBB)

ホール・ガイドンス

申込方法

- 窓口にて、使用許可申請書に必要事項を記入してください。
 - 会議室、和室、リハーサル室、練習室はサンポートホール高松施設予約管理システム(インターネット)より仮予約ができます。
※ホール、市民ギャラリー、コミュニケーションプラザは不可
- <http://www.reserve-sunport-hall.jp/bunyusr/usr>

申込受付時間

- 施設利用のご相談 … 9:00~17:30
- 施設使用申請・お支払い・利用者登録 … 9:00~17:00

申込受付期間

使用日の1年前の月の初日から、使用日の前日まで。

受付の順位

原則として先着順です。
ただし、受付開始日(毎月1日)については、抽選により順位を決定します。
詳しくは「ご利用案内」や財団ホームページをご覧ください。

<http://www.sunport-hall.jp/>

さんぽーとCLUB

会員だけのうれしい特典やお得なサービスがいっぱい!
一年中いつでも入会できます。

会員期間 1年間 会費 年会費 1,000円
特典 ★サンポートホール高松のプレイガイド窓口でのご購入に限りです。

- チケットに関する特典
 - ・財団が指定するチケットを、一般発売に先立ち優先的に予約または購入できます。
 - ・財団が指定するチケットを、原則上限20%割引をした会員価格で購入できます。
※割引率は公演によって異なります。
※会員価格で購入できるのは、会員お一人様5枚までです。
- 入会時の特典
 - ・入会と同時に、財団が指定するチケットを購入する場合、一般価格および学生価格から1,000円引きの価格で購入できます。
※ただし、1,000円引きで購入できるチケットは1枚までとし、初回入会時のみとします。
※1,000円引きでチケットを購入と同時に、会員お一人様4枚までを会員価格で購入できます。
※1,000円引きの特典が適用されない場合もあります。
- その他の特典
 - ・財団が発行する情報誌や、催し物案内等を定期的にお届けします。
 - ・財団の主催事業で出演されたアーティストの記念品等を抽選でプレゼントします。



入会の手続き

- ご来館によるお申し込み
入会申込書に必要事項をご記入の上、年会費を添えて、サンポートホール高松のプレイガイド窓口にお申し込みください。
- 現金書留によるお申し込み
入会申込書に必要事項をご記入の上、年会費を添えて、サンポートホール高松友の会事務局宛てに現金書留で郵送してください。

会員期間について

会員期間は、入会日から一年を経過した日の属する前月の末日までです。
以後、会員期間を更新するときは、その翌月の初日から1年間とします。

二兎社公演 二兎社30周年記念 作・演出 永井 愛 サンポートホール高松主催事業

シングルマザーズ

出演者
沢口靖子
根岸季衣
枝元 萌
文 梶 悠子
吉田栄作

さあ吹き消えろ
明日は明日
でも……
冷蔵庫からっぽ
財布は……

永井愛と沢口靖子・吉田栄作らの
意外な顔合わせ!

シングルマザーたちの「支え合い」のために設立された組織の事務局を舞台に、何らかの事情で、良くも悪くも「当たり前の生活」から外れてしまった女性たちが、共に活動する中で「社会の中の自分」を再発見していく一そんなシングルマザーたちの「感度の高い日々」を描きます。
今の社会を生きる厳しさに直面したことのある人なら、舞台の上にと「あなた自身」を見つかるはず。
それぞれ問題を抱えながら「現在」を生きる女性たちの姿が、迫力をもって浮かび上がります。

2011年4月25日(月)
19:00開演 (18:30開場)

サンポートホール高松 大ホール

チケット [全席指定] 1月27日(木) 発売 会員 ¥4,500 2月1日(火) 発売 一般 ¥4,800

第34回全国高等学校総合文化祭

演劇部門 表彰校

高校演劇フェスティバル

群馬県立前橋南高等学校「黒塚Sept.」
島根県立三刀屋高等学校「水底平家」

日時	2011年2月6日(日)
	群馬県立前橋南高等学校 11:00開演 (10:30開場) 島根県立三刀屋高等学校 13:30開演 (13:00開場)
会場	第1小ホール
チケット	2公演で500円 高校生以下無料 ※全席自由

毎年夏に開催される全国高等学校総合文化祭は、芸術文化活動の発表を行う高校生たちの文化の祭典として昭和52年から毎年開催され、文化部のインターハイとも呼ばれています。

今年度の「全国高総文祭みやぎ2010」は、当初、口蹄疫の感染拡大により開催が危ぶまれましたが、全国から約2万人の高校生が宮崎県に集いました。そして、その演劇部門では、「高校演劇」の頂点を目指して、約2,500校の中から選ばれた全国8ブロックの地区代表12校が参加しました。

地区大会を経て、何段階ものふるいにかけられ、年度をまたいでようやく辿り着くこの夏の

全国高総文祭は、全国の高校演劇部にとって、特別な意味を持っています。それは、文化部の中でも多くの時間と経費を必要とする演劇という特殊性のため、全国大会の出場枠は他の部門と比べて非常に狭き門となっているからです。サンポートホール高松では毎年、見事この全国大会で表彰の栄光に輝いた演劇部を招聘し、「高校演劇」のひたむきな姿勢と心打たれる「青春の舞台」を紹介しています。

第34回全国高等学校総合文化祭 演劇部門 文部科学大臣賞【最優秀校】 群馬県立前橋南高等学校

Q・全国大会へ初出場で、いきなりの「最優秀賞」受賞おめでとうございます。

受賞直後はただただ驚くばかりでしたが、周りの方々からお祝いの言葉をいただき、やっと実感がわいてきたという感じです。思い入れのある作品なので、このような評価をいただくことができ、部員一同たいへん嬉しく思っています。

Q・受賞作「黒塚Sept.」の見所を教えてください。

見終わった後に、いろいろと考えられる作品になっていると思います。全ての場面が見所というか、仕掛けがありますのでどのシーンも見逃さないでいただくとより楽しめると思います。

す。いずれにせよ、今までの生き方が変わりました。

Q・平家物語をベースとする軍記物語に取り組むにあたって、どんな工夫をしていますか？

古典なので、言葉や話し方が難しいです。今とは違う時代の、しかも自分とは違う立場、性別の人物を演じるので、役になりきるのが大変ですが、みんな「平家物語」を読んだりして勉強しています。台詞も古語のままの部分がないので、現代劇以上に言葉をきちんとお客さんに届けることを心がけています。

Q・セリフはどこでどのように覚えていきますか？

とにかく何度も何度も繰り返し練習します。台詞が自分のものとなるまで、体が覚えるまで繰り返し練習します。部員どうしの普段の会話の中にも無意識のうちに台詞が紛れ込んでいることが結構あります。

Q・普段の部活動での練習の様子を教えてください。

体育館のステージで月曜から金曜まで毎日。大会前は、さらに土日も2〜4時間練習しています。基本的に楽しくリラックスした活動です。

Q・配役はどのように決めているのですか？

創作の時は基本的にアテ書きなので、台本ができたときには配役が決まっています。既成作品の時は、立候補と話し合いで決めています。

Q・高校演劇フェスティバルへ2回目の参加となりました。前回参加された先輩方や顧問の先生の話を聞いて、今からとても楽しみにしています。

前は高松工芸高校さんと御一緒させていただいたのですが、交流の時間が一番印象に残っていると先輩はおっしゃっていました。また、照明のきつかけが多いので、コンクールときはリハーサルでいつも時間が足りずスタッフは大変な思いをしています。前回参加の時はリハーサルの時間をたっぷりとっていただいたと聞き、ありがたいと思いました。

帰りのバスの中で「また行きたいね」とみんなが言っていたのですが、今回また招待していただき、大変嬉しいです。招待して下さった方々、観に来てくださる方々の期待に応えることができるよう、しっかりと演じたいです。

Q・これまで4度の全国大会出場を果たし、今年度は「オニんぎよ」で「優秀賞」と「創作脚本賞」の受賞おめでとうございます。

「オニんぎよ」での文化庁長官賞受賞はとにかく嬉しかったです。国立劇場での上演に向けて、3年の先輩方もう少し一緒に部活動を出ることが一番嬉しかったことです。また、今までの先輩方を超えることが目標だったので、その目標が達成できて良かったです。

顧問の亀尾先生は納得のいくまで脚本を書き直し、演出もどんどん変えていかれます。役者に対しては動きのキレと、その場での役としての感情をきちんと表現することを重視しておられます。生徒思いの先生で、部活の時にもとてもオラがあるのですが、部活以外だと普通の人です。そして創作脚本賞を受賞した感想は「申し訳ないです。受賞して本当に良かったのか」とのことでした。

Q・高松公演に参加する部員31人のうち、男子部員は1名とのことですが、女子部員が多数を占める部活の苦労はありますか？

男子と女子の価値観が違うことが一番苦労します。意見を求められてもうまく答えを出してあげられない。同級生ばかりでなく、先輩にもオモチャ扱いはされる。たまにお父さんのようなポジションまたは心情になる。男子1人なので、舞台の空気を乱していないか、たまに不安になる。宿泊した時に一人部屋だから孤独を感じる。好奇心からなのか、思いもよらない質問がくる。

逆に得をしたと思うのは、女子との接点が増えたことで



第34回全国高等学校総合文化祭
「全国高総文祭みやぎ2010」演劇部門 表彰結果

文部科学大臣賞【最優秀校】

●群馬県立前橋南高等学校 (群馬県) 「黒塚Sept.」

文化庁長官賞【優秀校】

- 島根県立三刀屋高等学校 (島根県) 「オニんぎよ」
- 愛媛県立川之江高等学校 (愛媛県) 「さよなら小宮くん」
- 青森県立弘前中央高等学校 (青森県) 「あゆみ」

公共ホール音楽活性化支援事業

ブラック・ボトム・ブラス・バンド (BBBB)

日時 2010年11月11日(日) 14:00~16:00
会場 第2小ホール

【助成】財地域創造
【制作協力】社日本クラシック音楽事業協会

ホール公演に先立ち、地元の学校・施設でワークショップとミニコンサートを行いました。

11月18日(木) 香川大学

総勢75名の吹奏楽団と、サウンドクリニックを行いました。ヤッシーが指揮をするとなぜかみんな笑顔。いつの間にか力が抜けて、チューニングの音さえも厚みのある響きになりました。



力を抜いて～
ぬいて。ぬいて。
ブラブラ～

♪ジャパニーズグラフィティⅦ

11月20日(土) 香川中央高校

ワークショップも最終日。爽やかな挨拶で迎えてくれたのは吹奏楽部のみなさん。ワークショップの後には緊張もほぐれ、みんなで集合写真☆最後に、学生さんからBBBBへ挨拶がありました。

今までにしたこと
のない練習でした。
やっぱ音楽は楽し
いと思いました。

さらうことばかりに必死で、
リラックスして吹くことができ
ていなかったのかも。楽し
く吹くことができました。



♪ディズニープリンセスメドレー



完売御礼

11月19日(金) 香川第一中学校

リズムのとり方を少し変えるだけで、曲の表情が豊かになりました。体育館でのミニコンサートでは、全校生徒でワッショイ!ワッショイ!



部屋中に
音符が広がる
感じで♪

♪アルセナール

11月20日(土) 讃岐学園

みんなで「まねきねこダックの歌」を合奏しました。小さな子供も生でみる楽器に興味津々。ハイハイしながら太鼓に近づく姿がとても可愛らしかったです。

トーン。
トントン。



♪まねきねこダックの歌、さんぽ

11月21日(日) ホール公演

公演当日。満員の客席からBBBBがマーチングで登場♪新曲あり、お馴染みのCMソングありで、みんな手拍子でノリノリでした。曲の間もメンバー全員関西出身というBBBBらしいトークで、客席からの笑い声が絶えません。アンコールでは、ワークショップに参加した学生さんと楽器を持ってきたお客さんも一緒に「聖者の行進」をセッションしました。あっという間の2時間。来年もまた新しいアルバムをひっさげて、香川へ帰って来てくれるのを楽しみにしましょう。



- 【セットリスト】
- | | |
|--------------------|----------------|
| 1.マーチング | 9. Love Potion |
| 2. WAKE UP BLUES | 10. ハレルヤ |
| 3. Dragnfly | 11. IKO IKO |
| 4. ワッショイブギ | 12. グチキューバン |
| 5. MELON | 13. 再会 |
| 6. ノスタルジア | 14. 愛を探して |
| 7. 君と僕 (JRA CMソング) | アンコール |
| 8. 光のパレード | 聖者の行進 |



(おまけ)
BBBBが愛してやまない、
讃岐うどん。
移動中のお昼ごはんも
もちろん「うどん」でした。

瀬戸内国際芸術祭連携事業

l'oeuf ～おいしいものはベツバラ～

日時 2010年10月31日(日) 14:00~15:00
会場 第1小ホール

【作詞・作曲・演奏】港 大尋 【振付・構成・出演】青木尚哉 【ソプラノ】高村 聡子
【衣装】HANNA (高松市在住) 【舞台美術協力】カミイケタケヤ (高松市在住)
【企画・制作】財高松市文化芸術財団
【共催】高松市美術館・財団法人三モカ美術振興財団 【助成】財地域創造

はじめに
今回の企画では、約2ヶ月に亘り港大尋と青木尚哉の2人のアーティストが高松に滞在し、全国からオーディションを通過した11名と共に、9月4日から10月29日までの間、計11回サンポートホール高松でワークショップを開催。彼らは、演奏による音楽とダンスのワークショップを交互に繰り返し、また、一般のお客様に前に高松市美術館と丸亀市猪熊弦一郎現代美術館で作品レビューを発表し、細やかにじっくりと感覚を研ぎ澄ませた。

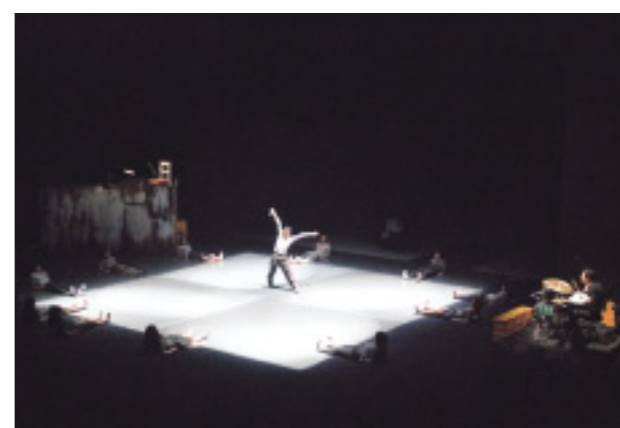
そして迎えた本公演には、5才〜80才の幅広いお客様が来場し、また、その9割がコンテンポラリーダンスを、そしてこの様なスタイルの公演を見たことがなかったが、「とても良いものが見られた」など嬉しい声を多く聞くことができた。

この作品では、音楽とダンスにある程度のきつかけはあるが、即興も多く最後まで緊張感が継続する公演であった。しかし、このような嬉しい感想が寄せられたのは、2人のアーティストが対話を通して個人を生かす演出を行ったこと、また、お客様も五感を研ぎ澄まし、「言葉が踊り、身体が歌う」「瞬間を感じ取ったこと、そして何よりここだけでしか見られないliveの舞台であった」ということだ。



会場に入ると、そこには奇妙に区切られた舞台とドラマが静かに佇み、集った人が時折生み出す物音や話し声のみが支配していた。ほどなく、舞台前方のドラムの前に港がギターを片手にふらりと現れる。そこはまるで通い慣れた馴染みのスタジオの様であり、彼の部屋の様でもある。静寂を打ち消すように「Suite (静物・静物画)」を歌い始めると、誘われるように青木が闇闇から現れ、言葉と音色に寄り添い静かに体を揺らし始める。彼から生まれ出る動きはクリアーで無駄がなく、時に大きく全身で舞い、空間をあつという間に支配してしまふ。

波の音をきつかけに辺りが明るくなると、懐かしい街並みの中に様々な静物画が現れる。舞台後方にある古びたプレハブ小屋に立つ女は、その艶のある声で怪しくも切なく「where」を歌い、「せめて踊ってせめて歌って」と誘う。すると動くはずのないそれらが、過去をそして現在を取り戻すかのようにゆっくりと動き出し、ドラムの音色に呼吸しながら入れ替わり立ち替わりムーブメントを起し疾走を始める。やがて、個々から全体へとうねりを生み出しながら増大し、不規則に、しかし規則的に幾度となく天を仰ぎ、空を舞い、地を這う。彼らのその動きは青木の振付けであるが、物理と生理学に基づいているため体に流れが見え自然なムーブメントである。



やがて薄明かりの中、彼らはただ静かに自己に刻まれた動きを繰り返す。そして繊細かつ大胆なピアノソロ「Groove in green」に導かれ、幾筋ものけもの道で、記憶が、人が、声が、音が、リズムが、動きが、複雑に交錯し関わりあい「せめて踊ってせめて歌って」と再び囁かれることで、忘れかけていた感覚を取り戻したはずだ。

理論が理解出来れば、ダンサーにとって踊り易いという特徴がある半面、どこまでも高いテクニックを要求されるものだ。深い暗闇の中、四角く照らし出されたエリアを彼らを取り囲むと、青木が中央に姿を現す。そして港の魂から紡ぎ出す激しいドラムの音色と、高揚感から発せられる奇声と共に1人狂気乱舞する。それはまるで表裏一体である音楽とダンスの起源の縮図の様であり、人々に刻まれた遠い記憶を呼び覚ますような躍動感に満ち溢れた空間である。そこではまさしく「言葉が踊り、身体が歌う」瞬間が次々と生み出されていた。

アンケートより

- ・はくりよくあって、力強かった。すごく楽しかった。(小学生)
- ・また見たいです (小学生)
- ・観て面白かったです。もっと観たかったですね。(30代女性)
- ・～おいしいものはベツバラ～というだけあって、本当に面白い公演でした。見ていても楽しかったです。次はどうなるのだろうとワクワクしながら見ていました。あっという間の1時間でした。こんな楽しいダンスなら、また見に行きたいと思えます。(30代女性)

出演者の声

- ・音楽のカウントの中で決められた振りをするのではなく、自分の中から湧き出てくるものを表していく。最初はどちらのいいのかわからない、と戸惑うことも多かったのですが、だんだんとそれが心地よくなり、また一人ではなく、他の人との関係性も作られていく。そういった楽しさがありました。
- ・本番は、皆と踊っている時、皆の熱気が感じられて凄かったです。自分もつられて気分が上がって不思議な感じがした。バレエで舞台上に立っている時と違う感じで、緊張よりも楽しさの方が大きかったです。